

# 施策分析シート（平成25年度）

No1

<b>施策名</b>	学校における健康・体力づくり	<b>施策No</b>	04-04	<b>部課名</b>	教育委員会事務局学務課		
				<b>課長名</b>	佐藤 内線 3330		
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	子育て教育都市[ ]					
	<b>政策</b>	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]					
<b>目的</b>	<p>小中学校・幼稚園における児童生徒・幼児の健康保持及び安全管理を確保し、学校教育の円滑な実施に資するとともに、全小中学校において完全給食を実施し、児童生徒の健康の増進と栄養の改善、食育の推進を図る。</p>						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		22年度	23年度	24年度	25年度		目標値 (28年度)
	内科健診（結核）受診率	99.00%	97.90%	99.26%	-	100%	内科健診受診者数 / 在籍者数 学校保健統計書より
	12歳における平均う歯数	1.15本	1.32本	1.03本	-	1.0本	(未処置歯本数 + 喪失歯本数 + 処置歯本数) / 受診者数
	学校保健委員会設置率	97.05%	100%	100%	-	100%	学校保健委員会設置校 / 34校
	管理栄養士配置率	50.00%	38.88%	55.56%	55.56%	100%	非常勤管理栄養士 / 非常勤栄養士配置校
ランチルーム整備校の割合	94.12%	91.18%	79.41%	76.47%	100%	ランチルーム整備校 / 全学校数	
<b>現状と課題（指標分析）</b>	<p>就学時健康診断、児童生徒健康診断、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の配置は学校保健安全法により、教育委員会に実施義務が課せられている事業である。学校、教育委員会で把握した情報については、適宜、保護者と連携して、健康診断の結果に基づく適切な対応を講じる必要がある。食材費の高騰や食の安全、給食用備品の老朽化等を考慮しつつ、安定的な給食運営に努める必要がある。</p> <p>学校給食を活用し、介護予防のための高齢者会食サービス事業（おたっしゃランチ）や児童安全対策のためのふれあい給食など、多様な事業を実施しており、今後も推進していく必要がある。う歯予防については、早期の健康教育等の対策が重要であり、学校においても歯磨きの慣行を徹底するなど、生活習慣の向上に向けた取組みが必要である。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>子どもの健康診断における健康状態の把握に加え、健康づくり部門とも連携を図りながら、学齢期における子どもの健康づくりに取り組んでいく。</p> <p>学校給食における食育の推進や安定的な給食運営の実現に資するべく、老朽化した給食備品の計画的な更新や食の安全への配慮など学校給食の充実に努める。</p> <p>う歯予防を図るため、歯磨き指導及び学校での歯磨きを促進するための環境整備に努める。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
推進	推進	<p>児童・生徒が生活の多くを過ごす学校における保健活動の役割は重要である。法に定める学校設置者としての責任を果たすとともに、生涯にわたる健康の基盤づくりを推進するうえで、必要な施策である。</p> <p>また、食育は子どもの健康づくりの基礎であり、学校給食の充実に資することは、食育のより一層の充実に資することから、優先度の高い施策である。</p>

## 施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
就学(就園)時健康診断	11-03-02	3,775	3,793	継続	継続	学校保健安全法第11条により実施する義務がある。
学校保健会補助	11-03-03	350	350	継続	継続	学校保健委員会の上部組織としての役割が期待されており、引き続き補助を継続する必要がある。
う歯予防対策	11-03-04	7,819	7,974	推進	推進	「新たな学校歯科保健推進計画」に基づき、う歯予防事業を推進していく必要がある。
一般給食事業	11-03-25	37,585	39,291	推進	推進	関係法令を遵守した学校給食を実施するための経費である。食の安全問題や食材の高騰など学校給食をとりまく厳しい状況が生じており、安定的な給食運営とするための対策を講じる必要があり、優先度は高い。
学校栄養職員報酬	11-03-26	54,558	55,867	継続	継続	学校給食の実施を担う人材として今後も配置が必要である。
給食調理業務委託	11-03-27	618,014	610,040	継続	継続	より良い業者の選定に努め、安定して給食を提供する必要がある。
学校給食の内容充実	11-03-28	28,823	30,329	推進	推進	学校給食における食育の推進及び食材費の高騰による保護者の負担増を回避するため必要である。
給食用一般備品整備	11-03-29	17,101	9,038	推進	推進	給食調理能力を維持するため、優先度は高い。
学校給食備品更新事業	11-03-30	4,410	23,050	重点的に推進	重点的に推進	給食調理能力を維持するため、優先度は極めて高い。
給食室大規模改修に伴う備品整備	11-03-31	3,113	20,443	重点的に推進	重点的に推進	児童生徒数の増加に対応する給食室の機能増強であり、優先度は高い。
嘱託医報酬	11-03-32	83,925	84,201	継続	継続	学校保健安全法第23条の規定に基づき、引き続き設置する。
学校保健管理費	11-03-33	8,791	10,441	継続	継続	児童生徒・幼児の体調不良や負傷に対応する保健室の運営費及び法律に定められた環境検査にかかる費用であり、学校運営上必要である。
児童生徒健康診断	11-03-34	22,268	23,649	継続	継続	学校保健安全法第13条により実施する義務がある。
学校健康会費	11-03-35	10,761	10,773	継続	継続	教育活動における負傷に伴う医療費の保護者負担を軽減するものであり継続する必要がある。
合 計		901,293	929,239			